

H28 農村環境【選択科目Ⅱ-1-4】

環境配慮対策を行った農業水利施設の維持管理において、期待された環境配慮の効果を十分に発揮させていくために必要な取組と留意すべき点について述べよ。

1 集落排水施設の整備率向上

農業農村は、農業生産基盤と地域の生活を支える集落基盤が一体となっている特徴がある。そのため、生活活動で発生する排水の農業水利施設への流入は避けられない。このため、環境配慮を行った農業水利施設の効用を発揮させるためには、都会に比べ立ち遅れている汚水処理施設の整備促進が必要である。

なお、整備にあたっては、1)水質保全効果向上のため、周辺地域の処理施設との一体性と連続性の確保、2)農村部の特性を生かした処理方式の導入等が必要である。

2 地域における農地・水保全活動の推進

地域力の低下する農村部での農業水利施設機能を安定的に維持して行くためには、地域住民や都市住民を含めた多様な主体による、住民参加型の農地・水保全活動向上が必要である。そのためには、1)市町村を仲介とした複数集落による相互互助体制の構築、2)社会資産としての保全啓発による都市住民の参加促進などがある。

3 農業水利施設の維持保全

農業水利施設は適切な管理・保全がなされて、水質保全機能が維持される。このため、高度成長期に整備され老朽化した施設の適時、適切な維持更新が必要である。そのためには、予防保全により機能の低下前に補修・更新を適切に行うべきである。一以上一